



進路ガイド 第2章
志望理由書・履歴書編

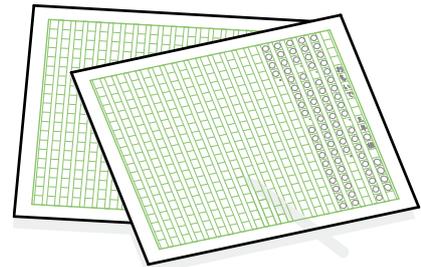
志望理由書のポイント

志望理由書とはどのようなものなのでしょうか？志望理由書とは、あなたが進学先で何を学びたいのか。それを学ぶ理由は何なのかなど、進学先の学びがあなたの将来像にどのようにつながっていくかということが評価される文章です。また、その進学先に本当に入学したいのかという意欲や熱意が問われます。そこで受験者が気を付けるべきポイントはどのようなことでしょうか？形式から内容まで考えていきましょう。

【形式編(進学・就職共通)】

まず志望理由書は入試の評価対象となる正式な文章であるため、友達に書く文章とは異なり、いくつかの書き方のルールが存在します。それらをまとめると以下のようになります。

- ① 文がねじれないようにする
- ② 文体を統一する
- ③ 口語的表現は避ける
- ④ 字数



以上の項目は、志望理由書を書く上での基本的な形式になります。せっかくの良い内容が書かれていても、形式が正しくない場合は、低い評価につながる場合があります。基本的な形式を押さえた上で、書いていきましょう。では各項目を詳しく見てみましょう。

① 文がねじれないようにする

これは主語と、述語がかみ合わないようにすることです。例文を見てみてください。

(例) [×] 私の目標は、看護師になりたいです。

⇒「目標」が「看護師」になりたいと思っている訳ではないので、主語と述語が合わない。(ねじれている)

[○] 私の目標は、看護師になることだ。

⇒「目標」は「看護師になること」であるので正しい。(ねじれていない)

② 文体を統一する

基本的には、「～だ。～である。」が基本となり、場合によっては「～です。～ます。」もありうる。例文を見てください。

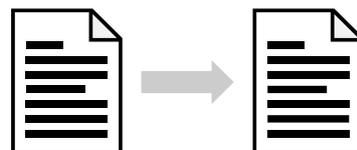
(例) 私の目標は、英語教師になることだ。そのために貴学の海外留学に強い関心があります。

⇒この場合、前半の文尾が「～だ」であるが、次の文尾では、「～ます」という風に異なる文尾が混在している。

③ 口語的表現は避ける

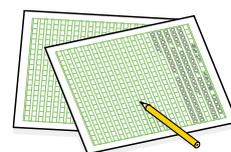
日常生活で友達同士で使うようなくだけた表現は口語的表現と言います。逆に入試の文章で使うようなかしこまった表現を文語的表現と言います。例を見て下さい。

(例)	口語的	⇒	文語的
	「～けど」	⇒	「しかしながら」
	「ちょっと」	⇒	「少し」
	「じゃない」	⇒	「～ではない」
	「なので」	⇒	「そのため」
	「なんで」	⇒	「なぜ」



④ 字数

字数に関しては、指定字数の9割以上を書きます。志望理由書の大きな要点の1つが、あなたの熱意や意欲です。空欄が目立つような解答用紙では、熱意は伝わりません。回答欄を可能な限りフル活用して、熱意を伝えましょう。



⑤ かぎ括弧

かぎ括弧「」は、基本的に会話を表現する際に使用されます。他にも引用や、タイトル名・作品名を示したり、強調する際にも使用されます。



【括弧のルール】

- 会話文には括弧をつける。 ⇒ 彼が「努力こそが最短の道」と言っていた。
- かぎ括弧内の文末に句点は打たない。 ⇒ 「それでは、また。土曜日に」
- かぎ括弧後の読点は打たない。 ⇒ それは、「基礎」「応用」「発展」です。
- かぎ括弧内の会話文は二重括弧。 ⇒ 「コーチが『5周走ろう』と言ってたよ」

【進学内容編】

志望理由書の内容は大きく分けると4つの段落に分けられます。それらをまとめると以下ようになります。

- ① 志望する「大学、学部、学科名」を記し、「学びたい内容」とそれにつながる「将来像」を簡潔に述べる。
- ② なぜその大学や学部、学科を志望することになったのかという「きっかけ」を、自身の経験や調べたことなどを元に述べる。
- ③ 進学先で「学びたいこと」を具体的に述べる。
- ④ 進学先で学んだことを元に、あなたの「将来の展望」を述べる。

以上のように、志望理由書は大きく分けると4つの大きな要素で作り上げることが、高い評価につながるポイントとなります。それでは各項目をより詳しく見ていきましょう。

- ① 志望する「大学(専門学校)、学部、学科名」を記し、「学びたい内容」とそれにつながる「将来像」を簡潔に述べる。

これらの要素を述べることで、この志望理由書の方向性がほぼ決まります。そのため、ここで述べる内容に従って②③④の要素が作られますので、全体のイメージを大切に書いていきましょう。それでは例文を見てみてください。

【理学療法学科編】

私は、貴学の健康科学部理学療法学科への進学を志望している。そこで運動機能の回復と共に、精神面でのサポートができる方法を学ぶことで、患者のトータルサポートができる理学療法士を目指している。そのため、貴学の学科にある「心身と体のトータルケア」という指針に強く共感した。

では、上記の形式を参考に、自分なりの文章を書いてみましょう。

--



担当印	
-----	--

- ② なぜその大学や学部、学科を志望することになったのかという「きっかけ」を、自身の経験や調べたことなどを元に述べる。

ここでは、できるだけ自身の経験を元に述べることで、説得力が増し、読み手の共感を得ることができます。「きっかけ」はいつ、何を通して経験し、そのことでのどのように感じたかという形式で書き、そのことが後の「学びたいこと」や、「将来像」につながっていくという前提で組み立てます。それでは例文を見てみて下さい。

私が理学療法に興味を持ったのは、中学 3 年生の時に部活動で肉離れをした時だ。肉離れの治療では、担当の理学療法士の方が脚の筋肉の構造から各部位が持つ機能まで丁寧に教えてくれたことで、日常生活における注意点やマッサージ方法を理解することができ、回復期間を短くすることができた。また、部活動に参加できないことで、精神的に落ち込んでいた際に、担当者が精神面でのサポートをしてくれたことで、前向きにリハビリに取り組むことができた。私は、この経験を通して肉体的な治療と精神的なサポートを同時進行で行うことで、患者の回復を早め、心の健康にもつながると強く感じた。

では、上記の形式を参考に、自分なりの文章を書いてみましょう。



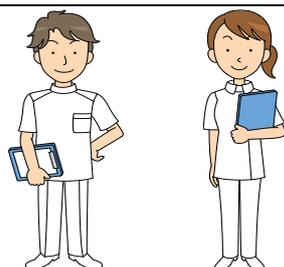
担当印	
-----	--

③ 進学先で「学びたいこと」を具体的に述べる。

ここでは、自分の将来のために「学びたいこと」を進学先のカリキュラムや活動と関連させながら組み立てていくことが大切です。ホームページやパンフレットなども参考にできると思いますが、オープンキャンパス等で実際に目にした内容を書くことも説得力につながります。また、進学先だけで学ぶことが可能な内容を示すことで独自性が生まれます。

以上のような面で患者をサポートするために、「解剖学」や「運動機能論」の授業で体の仕組みや機能を詳しく学び、「臨床心理学」や「メディカルメンタリティー学」をの授業で精神面でのサポートを学ぶことで、肉体と精神の両面におけるサポートができるようになりたいと考えている。また、総合病院と提携した「インターンシップ・プログラム」に参加することで、現場における実践的な施術方法や課題を直に体験することに強い関心を持っている。他にも、理学療法士の国家資格取得のために実施されている「国家試験対策講座」は、全国の合格率平均値を大きく上回る結果につながっているため、是非とも参加したいと考えている。

では、上記の形式を参考に、自分なりの文章を書いてみましょう。



担当印	
-----	--

④ 進学先で学んだことを元に、あなたの「**将来の展望**」を述べる。

ここでは、進学先で学んだことを、自分の将来にどのように活かしていくのかということが基本になります。また、自分の「**将来像に活かす**」だけでなく、**社会との関わり**（現代社会の問題解決など）を持たせることが高い評価へつながる。

精神面でのサポートは、リハビリ活動に前向きな気持ちで取り組むことができ、身体機能の回復を後押しすると言われている。また、事故等で身体的な障害を持った患者は、精神的な疾患を持つ可能性が健常者に比べて高いと言われている。その中で身体的、精神的なトータルサポートを深く学び、提供できる理学療法士になることで、患者がより良い社会生活を送ることに貢献できるのではと考えている。

では、上記の形式を参考に、自分なりの文章を書いてみましょう。



担当印	
-----	--

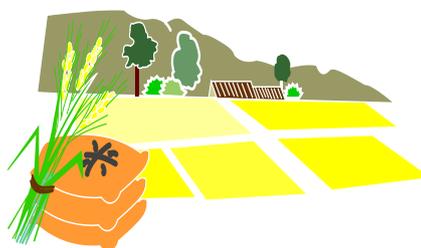
[地域構想学科編]

私は、貴学の教養学部地域構想学科への進学を志望している。そこで「社会と産業」について深く学び、将来は地元仙台の活性化に携わる仕事に携わりたいと考えている。

私が地域と産業に興味を持ったのは、中学 2 年生の時に総合的な探究の時間で仙台の農家を訪問したときだ。その農家の規模は大きくなかったものの、無農薬で糖度の高い健康で美味しい野菜を栽培していた。しかしながら、収穫した野菜のサイズや形状が流通可能な規格に達していないものが多く、廃棄せざるを得ない野菜が山のように積まれていたのを見たことが強く印象に残った。食品としては非常に価値が高いが、商品としての需要が成り立たない状況を目にし、規格外の商品を消費者に届ける流通経路を確立できないかと強く感じた。

以上のような流通経路を確立するために、「産業流通論」や「地域構想論」を学び、流通を新たに作るための基礎的知識や、農家を含む地域社会が活躍できる社会構造を学びたいと考えている。また、「フィールドスタディー活動」に参加することで、実際に現場に足を運び、地域社会の問題や課題点を見だし、より現実的な視点から解決策を考えることができる。更には、「ビジネスと地域の活性化」をテーマとした「〇〇ゼミ」に参加し、農家の事業が持続可能なビジネスモデルとして成り立つための条件を学びたいと考える。

日本の現代社会において、第一次産業に従事する人は高齢化に伴い、将来的な衰退が予測されている。しかしながら第一次産業は国全体の発展に不可欠であり、産業促進の必要性は高いと考える。私は、「産業と社会」を中心とした貴学の学びを活かし、第一次産業の発展を基盤とした産業促進に貢献していきたい。



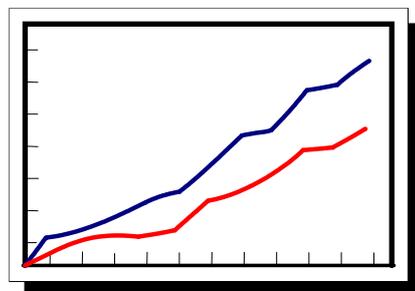
[経営学科編]

私は貴学の経営学部経営学科への入学を志望している。そのために、会社の安定経営に不可欠とされるマーケティングの基礎を学び、経営コンサルタントとして、企業の発展に貢献したいためだ。

私は小さな頃から遊園地が好きで、特に〇〇〇が大好きだった。そこは常に家族連れやカップル、友人同士のグループで賑わいが見られる。そこで、どのような経営方針がその遊園地を支えているのかを知りたかったために『〇〇〇の改革』という本を読んだことが興味を持つようになったきっかけだった。著者はその遊園地のマーケティング担当で、集客のための要素を分かりやすく書いており、あらゆるゲストの層を想定したマーケティング戦略が心に残った。そのことがきっかけで、私もマーケティングで多くの企業にかかわっていきたいと思い経営学を学ぼうと感じた。

貴学では、教育制度が充実しており、マーケティングの基礎を多角度から学べる「比較マーケティング論」や、接客の視点から学べる「サービスマーケティング論」などが準備されている。また、座学だけでなく、3年次の「フィールドリサーチ」では、自分が興味のある職場にインターンシップ制度という形で、実際の現場を体験し、実践的な課題解決方法を研究することができる。ゼミに関しては、少人数制授業でプレゼンテーションを中心とした、〇〇教授の「マーケティング論文演習」に参加し、自分の考えを整理し、まとめる力を身に付けたいと考えている。他にも課外講座である「社会人講座」にて、企業の現場で求められる資質を習得できればと考える。

以上のことより、進学した際はマーケティングの基礎から、実践的場面で求められる資質を身に付け、企業の発展を後押しできるような存在となり、活気のある企業や社会作りに貢献できる人材になれるように、4年間を充実させていきたいと考えている。



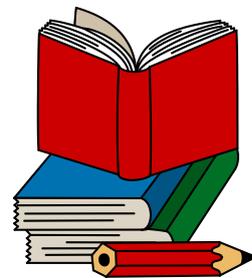
履歴書のポイント

履歴書とはどのようなものなのでしょう？履歴書とは、あなたが今までどのようなことに打ち込んできた(頑張ってきた)のか、会社にとってどのような力になれるのかを文面で伝えるものになります。また、その就職先にどれほど興味があり、熱意を持っているかを評価される材料になります。気をつけるポイントはどのようなことでしょうか？形式から内容まで考えていきましょう。

【形式編】

履歴書の形式に関する基本的なポイントは進学と共通していますが、履歴書を書く際に特に気をつけることをいくつか見ていきましょう。

- ① 丁寧な字で書く
- ② 見やすい配置で書く
- ③ 誤字・脱字に気をつける



以上の項目は、履歴書を書く上でのポイントになります。3つとも当たり前のように感じるかも知れませんが、評価する方は社会人として活躍している人たちです。今まで学生である受験者は、特に気をつけて書いていく必要があります。せっかくの良い内容が書かれていても、上記の形式ができていない場合は、低い評価につながる場合があります。ポイントを押さえた上で、しっかりと書いていきましょう。では各項目を詳しく見てみましょう。



① 丁寧な字で書く

会社側は、字のうまさを求めているわけではありません。読む人のことを考えて丁寧に字を書ける人を求めています。つまり、仕事に対して誠実に対応できる人を字の書き方を通して見ているのです。投げやりで雑な字を書く人は職場側としても不安になります。

② 見やすい配置で書く

たとえ字がきれいでも、配置が良くなければ読みにくくなってしまい、丁寧な字が台無しです。あくまでも読み手のことを第一に考えて書きましょう。

③ 誤字・脱字に気をつける

誤字は文字を間違えることで、脱字は字が抜け落ちることです。例文を見てみましょう。

・「雇客満足度が高い会社を目指して」(漢字違いの誤字による間違い)
⇒「顧客満足度が高い会社を目指して」(正しい)

・「顧客満足度が高い会社を目指て」(送り仮名が抜ける脱字による間違い)
⇒「顧客満足度が高い会社を目指して」(正しい)

誤字や脱字は書いた後の確認作業で防げます。つまり作業(仕事)を抜かしていると評価される可能性があります。

【就職内容編】

履歴書の内容でポイントになる部分は「志望の動機」の項目です。また、ここは自分を最大限にアピールできる場所でもあります。ポイントは3つあり、それらをまとめると以下ようになります。

- ① 就職先に興味を持った「きっかけ」を述べる。
- ② 自分が高校生活の中で頑張ってきたことや、力を入れたこと、そこで身に付けた力などを述べる。
- ③ なぜその就職先への就職を希望するのかを、他にはない具体的な事例を挙げて述べる。
- ④ 就職先でどのように活躍したいかを熱意を持ってアピールする。



以上のポイントを考えながら、「志望の理由」の欄を埋めていく必要があります。それでは例文を見てみましょう。

私は母がウェディングプランナーの仕事をしており、仕事のやりがいを聞かせてもらっていました。私自身も職場体験活動で御社を訪問させてもらった際にスタッフの方が生き生きと仕事に取り組んでいる姿を見て、自分も同じようにお客様の幸せを作っていける職業に就きたいと考えるようになりました。

私は高校でテニス部に所属し、マネージャーとして3年間選手の裏方としてサポートに取り組み、選手が気持ちよくプレーできるような環境作りに毎日励んできました。御社の「お客様の幸せを第一に」という社訓を拝見して、自分も今まで裏方として培ってきた他者のために貢献する精神を活かしたいと考えています。また、高校に入学してから一度も欠席をせずに学業や部活動に取り組んだことで培った精神力や体力を御社で活かしたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



では、上記の形式を参考に、自分なりの文章を書いてみましょう。

[練習]

担当印	
-----	--

[本書き]

担当印	
-----	--

担任印	
-----	--

実際の様式(左側)

履 歴 書		写真をはる位置 (30×40mm)
※14pt(指示なし)と16pt(指示)と使用		
令和4年8月30日現在		
ふりがな	せいぶん たろう	性別
氏名	生文 太郎(16pt)	男
生年月日	平成16年12月22日 生 (満17歳)	
ふりがな	みやぎけんせんたいししいずみくにじのおか	
現住所	〒981-8585 宮城県仙台市泉区虹の丘1丁目18番地(16pt)	
ふりがな		
連絡先	〒 同 上(16pt)	
(連絡先欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること)		
学 歴 ・ 職 歴	令和2年4月	東北生活文化大学高等学校 普通科 入学
	令和5年3月	東北生活文化大学高等学校 普通科 卒業見込み
		以 上
(職歴にはいわゆるアルバイトは含まない)		

実際の様式(右側)

(応募書類 その1)

	取得年月	資格等の名称	
資格等	令和2年11月	全国商業高等学校協会 ビジネス文書実務検定 速度部門 3級	
	令和3年9月	全国商業高等学校協会 情報処理検定 ビジネス情報部門 2級	
趣味・特技	スポーツ観戦(野球) タイピング	校内外の諸活動	役員 1年 ホームルール委員 代議委員 2年 なし 3年 ホームルーム運営委員 部活動 陸上競技部(1~3年, 部長) ボランティア活動 校外清掃
志望の動機	<p>私は、卒業後、就職を目指しているので勉強に集中して取り組みました。特に、未来創造応用科目の「ものづくり領域」の授業では、陶芸や七宝、染色の作品制作に力を入れました。この授業を通して、集中してきめ細かい作業が好きなことに気づきました。また、勉強と両立して〇〇部に所属しました。副部長は部長をサポートし、他の部員とのコミュニケーションを図りながら活動するため、協調性の大切さを学ぶことができました。</p> <p>貴社の職場見学に参加して1万種類以上のトレーを取り扱っており、お客様へのきめ細かい対応をしていることが強く印象に残っています。私が志望している業務職は、お客様が望んでいる商品を期限までに届ける仕事だと伺いました。高校で培った集中力ときめ細かい作業が好きなこと、部活動で身に付けた協調性を活かすことができると強く思い志望致しました。どうぞ宜しくお願い致します。(16pt)</p>		
備考	<p>1年・2年 皆勤賞</p> <p>宮城県高等学校総合体育大会 ライフル射撃競技 個人 第3位</p>		

